

令和2年7月4日

保護者様

糸島市立引津小学校  
校長 中野 浩尚

## 交通安全指導の徹底についてのお願い

平素より本校の教育活動に御支援・御協力いただき、ありがとうございます。

さて、糸島市内において、児童生徒の交通事故（車との接触事故等）が発生しております。そこで、学校では、7/4から7/10までに、裏面内容の交通安全指導を全学級で行います。

つきましては、指導内容を御覧いただき、お子様の交通規則やマナーの遵守、自転車の安全な利用について、今一度御家庭でも御指導いただきますようお願い申し上げます。

### ～命を守る合言葉～

※児童には意識しやすいように「とまる・みる・まつ」で指導しています

# もしかして

車やバイクが来るかもしれないという意識をもつ

# とまる

しっかりとまって確認体制にはいる

# みる

左右、前後、周りが安全か自分の目で見る

# まつ

安全が確保されるまで、車やバイクが通過するのを待つ

# たしかめる

安全に横断・通行できるかももう一度確かめる

## 1. 交通事故の現状

### 【福岡県内小学生の交通事故の特徴】

- 事故の原因は、「飛び出し」（59%）「横断違反」（21%）「信号無視」（8%）「路上遊戯」（4%）の順。「飛び出し」と「横断違反」で8割超。※糸島の小学生の事故原因の大半は「飛び出し」
- 事故の時間帯は、「登下校中」で3割。
- 事故の場所の多くは、「交差点」。
- 低学年は「歩行中」、高学年は「自転車」の事故が多い。  
「歩行中」事故の原因…「その他横断中」「横断歩道の横断中」の順に多い  
「自転車」事故の原因…「出会い頭」がほとんど。
- 最も事故が多い学年は、1年生。  
1年生は、3～6月は下校中、10～2月は登校中の事故が多い。

## 2. 指導内容

キーワード化して、日々意識・確認すること

命を守る合い言葉

とまる ・ みる ・ まつ

### 【歩き方について】

交差点では、1回止まる、左右を見る、車などが通り過ぎるのを待つこと

- ①登下校では、道路で走らずに、歩く。
- ②歩道、グリーンベルト内の車道ではない側を歩く。
- ③縁石には乗らない、縁石の上を歩かないこと。
- ④道を渡るときは横断歩道で渡る。
- ⑤道を渡るときは、青信号であっても左右の確認（とまる・見る・待つ）をしてから渡る。
- ⑥信号点滅になったら、渡り始めないこと。
- ⑦交差点（曲がり角があるところ）では、左右の確認（とまる・見る・待つ）をして通る。

### 【自転車の乗り方について】

交差点では、1回止まる、左右を見る、車などが通り過ぎるのを待つこと

- ①歩道内で自転車に乗る。（小学生の児童は、歩行者に気をつけた上で歩道での走行が可能）
- ②道を渡るときは、横断歩道で渡る。
- ③道を渡るときは、青信号であっても左右の確認（とまる・見る・待つ）をしてから渡る。
- ④信号が点滅になったら、渡り始めない。
- ⑤交差点（曲がり角があるところ）では、左右の確認（とまる・見る・待つ）をして通る。
- ⑥ヘルメットをかぶること。

### 【その他道路での指導事項】

- ①道路でスケートボード、キックボード、キックスケーター等に乗らない。
- ②道路でローラースケートで遊ばない。
- ③道路を歩くときにローラーシューズですべらない。